

住友たまみ 次のチャレンジ

市議会議員・日本共産党

子ども・教育

- 学校給食費の無償化へ
- ケアラー支援条例制定を
- インクルーシブ教育の推進と
教員の負担軽減へ

くらし・介護

- 補聴器購入助成制度を
- 高すぎる国保料や介護保険料の
引き下げ

環境・ジェンダー

- 有機フッ素化合物(PFAS)の実態調査と
対策を進める

都に2月3日に
対策強化を要請



- 気候危機打開へ、2030年までにCO₂を60%削減
- 市内公共施設に生理用品を常設する

平和

- オスプレイの多摩地域での飛行訓練中止



日本共産党
3人のベストチームでがんばります



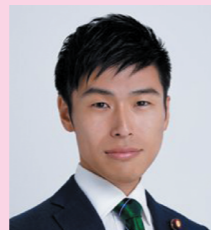
矢川地域 不要不急な 都市計画道路は見直しを!

自然豊かな矢川の上を通り、長年の地域
コミュニティを壊す大型道路は本当に必要な
のか。住民の声を聞いて見直すべきです。



道路予定地(斜線部分)

大軍拡ノー 9条生かした平和外交を



住友たまみさんを
応援しています

日本共産党参議院議員
山添 拓

住友たまみさんを
推せんします
(50音順・敬称略)

- 小倉 順子 (三多摩健康友の会国立支部長)
- 川口 智久 (一橋大学名誉教授)
- 窪田 之喜 (三多摩健康友の会会長・弁護士)
- 杉井 静子 (ひめしゃら法律事務所・弁護士)
- 関 ヤエ (谷保在住)
- 長坂 康子 (立川相互病院・産婦人科医師)
- 長崎 秀惟 (三多摩健康友の会元国立支部長)
- 浜 みゆき (谷保在住)
- 守屋 幸俊 (矢川北団地自治会長)

「困っている人に寄り添う」

国立市議(2期)

介護
福祉士

住友 たまみ



プロフィール

- 1967年10月 東京都三鷹市生まれ
- 1986年 都立府中西高校卒業
- 1988年 双葉服飾専門学校卒業、その後、服飾メーカーに勤務
- 2006年~老人介護施設等に介護福祉士として勤務
- 2015年 国立市議会議員選挙にて初当選 現在2期目
福祉保険委員会委員長

- 【趣味】映画鑑賞・散歩・手芸
- 【住所】国立市西2丁目在住
- 【電話】090-4618-8277
- 【メール】hide.tama.sei@gmail.com

水道水PFAS(有機フッ素化合物)
汚染の調査・対策強化を

担当地域

西1丁目14~18、西2丁目、
富士見台4丁目、谷保(市役所
西側道路の西側1108~1457、
1640~1644、5925~7144番地)、
泉、青柳、矢川、石田



日本共産党国立市委員会は住友たまみ市議の活動を発表しました。
2023年2・3月号外 発行：明るい国立社 042-576-0655

日本共産党

🏳️ 介護福祉士、シングルマザーの経験生かし市政を動かす 住友たままみ



子育て支援

**実現
できました**

子ども医療費助成 高校生相当まで所得制限撤廃

私は、ひとり親として子育てする中で、医療費を捻出するのに苦慮した経験から、どの子も安心して医療にかかれるよう「子どもの医療費助成」拡充を、何度も議会で提案しました。

共産党市議団としては、1988年から負担軽減制度の実施と拡充を求めてきました。

ついに制度拡充が進み、高校生(18歳)相当の年齢までの子ども医療費助成を、2023年4月からスタートすることができるようになりました。

市民や保護者のみなさんと一緒に実現させた大きな成果です。



コロナ対応

共産党市議団は、障がい者・老人介護施設や商店など、独自の聞き取り調査を行い、コロナ対策や生活支援の強化を求める要望書を、通算11回にわたり市に提出し、実現を求めました。「かかりつけ医や集団会場でのワクチン接種」「歩行困難者への移送支援」「生活保護世帯に夏場の補助金を実施」など様々な支援が実現しました。



市長に要望書を提出

ジェンダー平等

ジェンダー平等の取り組みに対して、様々な提案を行ってきました。2020年度の市内の女性管理職の割合は10.7%と、近隣自治体に比べて1番低い割合でした。多様な意見が反映できないとして、市に改善を迫り、2022年度には15.3%へと増加しました。さらに、市が挙げた目標値の実現を目指します。

またパートナーシップ制度の創設やLGBTQへの理解者(アライ)の促進などを当事者との連携で実現しました。



アライバッチ

介護

介護福祉士の経験を生かし、介護従事者に対する技術研修や復職のための準備金制度の活用などを実現しました。

平和が活動の原点

「聞けわだつみの声」の戦争に行った学生たちの遺書を読み、平和への思いが芽生えました。

明るさの秘密

苦勞をものともひない、母の影響です。

どうして市議に？

自分自身が生活や人生のことで悩んでいるときに支えになってくれたのが、日本共産党の市議さんでした。親身になって対応して下さったことが忘れられません。自分も少しでもみなさんのお役に立てる仕事をしたいと思ひ決意しました。

介護福祉士エピソード

介護の仕事をしていた際、「私が生きていると迷惑になる」とつぶやいていた高齢者の、寂しい顔と言葉が今も忘れられません。



子育ての苦勞に寄り添う

一人での子育てで困っていた私にそっと寄り添い、時間を惜しまず一緒に考え導いてくれた住友さん。そのおかげで、私の現在生活の基盤が作ることができ、生きる希望、精神的な安定エネルギーを頂きました。大変感謝しております。いつまでも応援しつづけたい気持ちでいっぱいです。

(西地域 Kさん)

高齢の方の苦勞を支える

住友さんに相談したところ、生活保護や介護保険の申請を出すことができ、要介護5と認定され、ベッドが入り、寝起きがとても楽になりました。なくてはならない共産党の議員のため、ぜひこれからもがんばってほしいです。

(矢川北団地 Yさん)

実現

- ✓ ケースワーカー職員の増員(9人から11人に)
- ✓ ためらわず利用できるように生活保護のしおりに「生活保護は権利」と明記
- ✓ 物価高騰の影響が大きい生活保護世帯への夏場の電気代補助
- ✓ 近所から危ないとの声。二小通学路のひび割れていた側溝フタの改善